

VMware vCenter 統合とエージェント for ESX(i)の配置

目次

1. VMWare vCenter 統合	3
1.1. VMWare vCenter 統合の有効化	3
1.2. エージェント for ESX(i) の配置	6
1.3. vSphere Client からの エージェント for ESX(i) 配置	9
2. ESX サーバ単体の管理	14
2.1. ESX サーバ単体の管理	14
3. エージェントの柔軟な構成	14
3.1. 仮想コンピュータの配分	14
4. 仮想コンピュータのバックアップ	16
4.1. バックアップ計画/タスクの作成(エージェントレスバックアップ)	16
5. 仮想コンピュータの復元	20
5.1. 仮想コンピュータの復元タスクの実行	20



2012年11月26日 ver1.0 [初版]

本手順書では vCenter サーバが管理する仮想コンピュータを Acronis Backup & Recovery 11.5 エージェント for ESX(i) (バーチャルアプライアンス)を用いてバックアップする手順をご紹介します。

前提条件:

- 1つ以上の ESX ホストを管理する vCenter サーバが存在しています。
- VMware Tools が、バックアップ対象の仮想コンピュータにインストールされています。
- Acronis Backup & Recovery 11.5 の管理サーバが構築済みです。
- Acronis Backup & Recovery 11.5 Virtual Edition のライセンスが1つ以上あります。
 バックアップ対象の仮想コンピュータが存在する ESX ホストごとに、個別のライセンスが必要です。
 製品版のプロダクトキーを購入するか、試用版のプロダクトキーを取得することができます。



1. VMWare vCenter 統合

<u>1.1. VMWare vCenter 統合の有効化</u>

管理サーバ画面上のショートカット[Acronis Backup & Recovery 11.5]をクリックし、管理サーバに接続します。

7.63-9-	
- 136箱	
Access Backup &	
Recovery 115	
	81 1 45 m m m m m m 1117
(² , 29-1-1)	● A 股 ¹ 20 2012/11/26 ■
	1010/10/20

[オプション] - [管理サーバーオプション]を開きます。





[仮想コンピュータ]-[VMWare vCenter の統合…]を選択します。



[VMWare vCenter の統合…]をクリックし、対象となる vCenter サーバを指定します。

エージェント for ESX(i)を自動的に配置することが可能ですが、本手順書では手動にて配置を行います。 チェックボックスを外し、[OK]をクリックして画面を閉じます。

★管理サーバー オブション Acronis Backup & Recover	y 11.5 管理サーバーのオプションを確認し、必要に応じて設定を変更してください。
	 ▼ Whware vCenter 総合 ◆ K合各設定する ▼ VCenter サーバー名またはIP アドレスおよび接続に使用 するログイン情報の指定 ▼ 次のvCenter サーバーとの総合を有効化する P /名部: 192.168.0.113 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●



再度[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。



[ナビゲーション] - [仮想コンピュータ]配下に vCenter サーバが自動的に登録されます。





<u>1.2. エージェント for ESX(i) の配置</u>

vCenter サーバを右クリックし、[エージェント for ESX(i)を配置する]を実行します。

〇〇· 〇 田田・ ジ アクション・ S	ミツール・ 回ナビゲーショ	>+ @ #75=>+ B	192168.0.113 アクション・	Q へルプ•		4)	Acronis (0)
ドピゲーション *	192 168 0 11	2					ACIONS 🧶
ヨリスト 完全リスト	711-71-1+ scanter	Second の仮想コンピュ	- 々が合まれています				
aBR115AMS.dev.com	570 Sicial Venter		Jonaker Conky	- Durane	a company of	No.	S S
<i>❷ ダッシュ</i> ポード			4 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Different d	ARRAY ARA	7 83048	-
> 1 1 エージェントがインストールされてい	仮想コンビュージ名 エージ	エント ステータス 前田	の開始 制度正常に元了し	121(99797	(第一回)(シラアシ。	P HEAROJSKIE	JX2F A
・「「仮想コンピュータ		19/01- 19	1011 1010		11/1		
すべての仮想コンピュータ	AJ Datacenter						20/7/0
1021680112							
A DA ALDA * 今年くバックアップ							
M 四 パックアップ計画の	作成						
G //y 27							
Microsoft Ex	SCINE 9 0						
📕 データカタレ 🔂 エージェント for ESD	xmを記載する						
> 60 格納城	(() をアップデートする						
◎ ストレージ ● エージェント for ES	X(i) を削除する						
○ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	x(1)のパインドを構成する						
0 更新							
コートカット							
ローカルコンピュータ [ABR115AMS.dev.or							
現在のユーザー として AMS [localhost]							
				A			

エージェントを配置するホストを選択し、VA(バーチャルアプライアンス)名、データストア、ネットワークインターフェイスを指定します。

※エージェント for ESX(i) 1 台で vCenter 環境全体を保護することが可能ですが、仮想コンピュタの台数や構成 によってはバックアップに時間を要します。バックアップ時間を短縮する為には、各ホスト上にエージェント for ESX(i)を展開してください。また、エージェント for ESX(i)が使用する IP アドレスをここで設定できます。

COURT COURT	 SX()ホストの追加 すべて選択 	192.160.0.53	約2月前 ○ 9スクの世界 1000円 1000円 100000 - ブルの出版 若了したパックアップ 次回のパックアップ 電源の状態 コメント ▲ ▼ [FAC] ▼
VA-S: AccornitSUApplance 66 デークストア: datatorel(ResdyMAS) (空き 692 06) ネットワークイン VM Network ターフェイン VM Network Statuscoll(ResdyMAS) (空き 692 06) でたか Bit 2010でガークンのまっ Statuscoll(ResdyMAS) (空き 692 06) マンドレン Statuscoll(Resdymas) (空き 692 06) アンドレン Statuscoll(Resdymas) (空き 692 06) アンドレン Statuscoll(Resdymas) (空き 692 06) アンドレン Statuscoll(Resdymas) (PT) (PT) (PT) (PT) (PT) (PT) (PT) (PT	AJ Cluster	種類: Whware ESG パージョン:41.0 build:348481 図 エージェント for ESX旧 を木スト(11.5.32308)に配置する	2091/
0K キャンセル		VA名: AcronicESXApplance.65 データストア: detastore(ReadyNAS) (空き 699.2 GB) ネットワークイン VM Network ターフェイス: vCenter サーバーログイン開始 第時たのログイン開発 Active (ReadyNAS) (空き 699.2 GB)	
ヘルプ エージェント for 55(0) を起意する キャンセル)~1.7	」 エージェント for ESX()) を記載する キャンセル	ок ‡тр>±и



[エージェント for ESX(i)を配置する]をクリックし、配置を開始します。

(3)○● ◎ 接続・ 🖗 アクション・ 🖇	ミツール・ 湿ナビダ	-ション・ 🕲 オプション	• 28 192.168	113 アクション・ 🕡 ヘルプ・				1 A C	cronis 🔘
ナピゲーション 《 開リスト 完全リスト 4 〇 ABRITSAMS.dev.com Ø ダッシュボード) 岡 エージェントがインストールされてい	192.168.0 グループには、v キャマンシンテ 仮想コンピュータ名	113 Center Server の仮想コン ップ 空パックアップITE エージェント ステータス	ビュータがき の作成 単 電 前回の接続	まれています。 こ Q IPBのます ① タスク 前回正常に売了したパックアップ	083 1	 ロクの書き 次回のパックアップ (まへて) 	807	にブへの点地 配源の状態	* 4<*
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	AJ Datacenter								このグルー
 ● Muster ● J バックアップの計画およびタスク ● Microsoft Exchange Serve ● テラクログ ● 時時端 ● ストレージノード ● テラプ型電 ※ うイセンス ● アラート ● レボート ● ローカル コンピュータ [ABR115AMS.dev.cc ● ローカル コンピュータ [ABR115AMS.dev.cc] ■ 現在のユーザー として AMS [localhest] 									
	* エージェント	ior ESX(i) を「192.168	.0.53」にイ	ンストールしています					
	エージェント for ESX	a) を「192.368.0.52」 にインス	<トールしていま	Ţ				46%	キャンセル
	エージェント for ESX))を「192.168.0.53」にインス	<ト− <i>J</i> Lしていま	Ŧ	-		-	68%	キャンセル
								 現在のア 	クティビティ

エージェント展開後、[ナビゲーション] - [エージェントがインストールされているコンピュータ] - [エージェントがインストールされているすべてのコンピュータ]配下にエージェントが登録されます。





vSphere ClientからvCenterに接続すると、エージェントfor ESX(i)(バーチャルアプライアンス)の稼働を確認できます。IP アドレスが自動的に割り当てられていますので、固定 IP アドレスに変更することもできます。

🕝 192.168.0.52 上の Ac	ronisESXAppliance-85	
ファイル (F) 表示 (W)	仮想マシン (V)	
🔲 II 🕨 🗐 🛛		
Acronis Backup &	Recovery 11.5 エージェント for VMware vSphere ESX(i) (仮想ア	プライアンス) 🛛 🔀
Acronis Back	aup & Recovery 11.5 エージェント for VMware vSphere ESX(i) (仮	想アプライアンス)
この仮想コンピュ	ータにインストールされているエージェントを設定します。管理コン i)サーバーの仮相コンピュータをバックアップ「ア復元」ます	ソールをエージェン
エージェントスラ	データス: エージェントは vCenter/ESX(i) サーバー '192,168,0.1 います。	13。に接続されて
仮想コンピュー	<i>b</i>	^
名前:	AcronisESXAppliance-85	変更
時刻:	2012年11月26日月曜日 14:50:33	
タイム ゾーン:	(UTC+09:00)大阪、札幌、東京	変更
エージェントフ	オプション	
vCenter/ ESX(i):	接続中 サーバー名/IP: 192.163.0.113 ユーザー名: administrator	変更
eth0	アドレスの種類: 手動による割り当て IP アドレス: 192,168.0.85 サブネット マスク: 255,255,255.0	変更
ローカル ストレ	<mark>,−ÿ</mark>	-7 - 1 18-7 + 1
ヘルプ ③ バー	ジョン情報 オフにする	再起動

エージェント for ESX(i)(バーチャルアプライアンス)配置後、グレーアウトされていた仮想コンピュータが正常に 表示されます。

icronis Dackup a recovery 11.5 - Ajhar	ninedev 200 AMSIA	NURTISAMS.	dev.com]L_f%	8				
🏹 🕞 接続す 🚿 アクションマ 🖇	🖇 ツールマ 🔤 ナビゲ	-5=>+	🕲 オブション・	🕶 📲 'AJ Datao	enter アクション・ 🔞 ヘルプ・		9	Acronis (
ビゲーション 《 NUスト 完全リスト ABR11SAMS.dev.com	AJ Datace このグループは、	nter VMware vC	enter を統合	した結果とし	て作成されました。	🗟 ログの表示 🎒 Ma		
🥝 ダッシュボード	仮想つたビュータタ	T-OFNA	7=-07	前回の時間	奈田正常に完了したじゃクマップ	次回のビックアップ	#350 HTE	DANK A
# 22 エージェントがインストールされてい	WGJ/CJ-74		17-70	IT CT1	MELEMICAS 0/0/199797		HEAD VIVIE	3771-
エージェントがインストールされ1			19/01	19/01	Lavel .	19/10	*	
▲ □ 個 仮想コンピュータ	Acronis Virtual							このグルー.
■ すべての仮想コンピュータ		AcconicESV	OK.	2012/11/26.14	201.	1221.4	ditub.	20970
▷ (()) ポストおよびクラスタ	WIN2K3R2 13	AcronicESX	OK	2012/11/26 14	20 21.	(12) (12)	停止	
a 👩 192.168.0.113	WIN2K3R2 14	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	(なし)	停止	
A III AJ Datacenter	WIN2K3R2_15	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	[なし]	停止	
Contraction of the second seco	TWIN2K8R2_02	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	[なし]	停止	
Master	WIN2K8R2_03	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	[なし]	停止	
 「ックアップの計画およびタスク 	min_2KSV_32	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	[なし]	停止	
Microsoft Exchange Server	Twin_XP_21	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	[なし]	停止	
■ データ カタログ	WIN_XP_22	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	[なし]	停止	
▷ ⑤ 格納城	WIN_XP_23	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	[なし]	停止	
い ストレージ ノード	WIN2K3R2_11	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	[/20]	停止	
▷ ■ テープ管理	WINZKBRZ_01	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし たい	[75(U]	停止	
100 ライセンス	WIN2K8R2_04	AcronicESX	OK	2012/11/20 14	ない かし	[/# 0/]	199-11. 498-11-	
🍠 アラート	WIN 2KSV 31	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	20	(AU)	停止	
◎ レポート	WIN 2KSV 33	AcronisESX	OK	2012/11/26 14	なし	[なし]	停止	
II 07	Center	AcronisESX	ок	2012/11/26 14	なし	[なし]	実行中	
- httw.h								
ローカルコンピュータ [ABR115AMS.dev.co								
現在のユーザー として AMS [localhost]								

以上で、エージェント for ESX(i)(バーチャルアプライアンス)の配置は完了です。



<u>1.3. vSphere Client からの エージェント for ESX(i) 配置</u>

vSphere Client から vCenter サーバに接続し、[ファイル]-[OVF テンプレートのデプロイ]を実行します。

(F) 編集(E) 表示(W) インベ	ントリ(N) 管理(A) プラダイン(P) ヘルプ(H)	
所規 (N)	・ 10 > 簡 ホストおよびクラスタ	(こへ) 円の検索
OVF テンブレートのデブロイ (D)		
エクスポート (E)	*	
レポート (R)	PENTER, 192.168.0.113 VMware vCenter Server, 4.1.0, 345043	
VA Marketplace の参照 (B)	に的に、データセンター、仮想マシン、ホスト、タスクおよびイベント、アラーム、格	NR Crozh
マップのED間 (P)	* ホストおよびクラスタ」ビューについて	タブを開じる 国
体7 00	のビューロオ 料字のナスト カラスタ またけいりース ゴール	
 WH 2859, 32 WH 2859, 33 WH 2959, 33 WH 292, 21 WH 292, 22 WH 292, 23 WH 20232, 11 WH 20232, 11 WH 2032, 12 WH 2032, 12 WH 2032, 12 WH 2032, 12 WH 2032, 14 WH 2032, 15 	て動作する。一連のコンピューティング リンースが表示されま す。「ホストおよびうラスタリビューを使用すると、コンピューティン グ リンースのインベントリの管理および装印ができます。 	and the second s
6) WINX882_03 6) WINX882_03 分 WINX882_04 6) WINX882_05	2:	3)ビュー (5)またビック
		インペントリビューの詳細
		仮想化について
	-	データセンターについて
	1.2	
120	名約	、ターゲット または ステータス に次の内容を含む: ・ 500
10.00	ト ステータス 詳細 開始者 VCenter Server	要求された開始時刻 マ 開始時刻 完了時刻
3-79		- In the second s
ターケッ ご想マシンの前切除 🔂 A	cronisESXAppl ② 完了 Administrator 🔐 VCENTER	2012/11/26 15:02:46 2012/11/26 15:02:46 2012/11/26 15:02:47
タークタ (想マシンの前印象 🔐 A (想マシンの前印象 🔂 A	cronieCSXAppl ② 完了 Administrator 💋 VCENTER cronieCSXAppl ③ 完了 Administrator 💋 VCENTER	2012/11/26 15:02:46 2012/11/26 15:02:46 2012/11/26 15:02:47 2012/11/26 15:02:40 2012/11/26 15:02:40 2012/11/26 15:02:42

管理サーバに保存されている AcronisESXAppliance.ovf ファイルを指定します。 例:Windows 2008 R2 サーバの場合、以下の配下に保存されています。 C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Acronis¥ESXAppliance





後はウィザードに従います。確認画面で問題がなければ、[終了]をクリックし、ovf ファイルを展開します。

❷OVF テンプレートのデブロイ 級工進備の完了			
使用する設定の確認			
<u>ソース</u> OVF テンプレートの詳細 名前と場所	「終了」をクリックすると、う デプロイ設定	プロイ タスクが開始されます。	
 □ ホストルクラス2 <i>〒</i>→ス入ア <i>〒へ</i>ス入りフォーマット <i>〒へ</i>ス入りフォーマット 終 7 準備の完 7 	OVF ファイル: ダウンロードサイズ: ディスク上のサイズ: 名前: フォルズ: 名前: オネノトクラスタ: 特定のオスト: データストア: ディスクのフォーマット: ネットワークのマッピング:	C:WForgram Files (x86)WCommon FilesWAG 99.8 MB 不明 AcronisESXAppliance85 AJ Datacenter AJ Cluster 192.168.0.52 datastors(ReadyNAS) シッグ フロどうコング Fbridged」~「VM Network」	ronis#ESXAppliance¥AcronisESXApplianc
	•		>
ヘルブ (H)		戻る(<) 終了 キャンセル

展開後、エージェント for ESX(i) を起動します。

[閉じる]をクリックし、次へ進みます。

🛃 192.168.0.52	上の 88_AcronisESXAppliance		_ _ X
ファイル(F) 表示	(W) 仮想マシン (V)		
🔲 🛛 🕨	😒 🔯 🕼 🇊 🔜 🧇		
	Agrophia Poglam & Poggaony 11 The Star Sch. for	Muana uSphana FSV (i 🛛 🔽	
	ACTOLLS PACKUP & RECOVERY II T-9191	. vnware vopnere mow(1, 🔽	
	エージェント for VMware vSphere ESX(i) ストールされている仮想コンピュータが起	(Virtual Appliance) がイン 動されました。	
	ESX(i) サーバーの仮想コンピュータのバック	アップと復元を可能にする	
	1. 管理コンソールがインストールされている	場所のタイム ゾーンを選択	
	します。	ー なが たたま る (Mulane	
	ESX(1) サーバーの名前または IP アドレス、	およびそのサーバーにログオ	
	ンするためのユーザー名とパスワードを指定し 3. コンパールをエージェントに接続して(主	」ます。 たけ仮相コンピュータを	
	Acronis Backup & Recovery 11 管理サーバー	上のエージェントに登録し	
	て)、ESX(i) サーバーの仮想コンピュータを す	バックアップおよび復元しま	
	9 •		
		ESX/ESXI T-N-	
	for	VM ₁	
	ESX/ESXi	VM ₂	
		VM _n	
	AMS		
	□起動時に表示しない	一日しる	



設定画面が表示されますので、下記内容を設定します。

[仮想コンピュータ] - [名前]:

既定のままで問題ありませんが、エージェント for ESX(i)が複数になる場合、名前を変更してください。 [仮想コンピュータ] - [タイムゾーン]:

(GMT+09:00)大阪、札幌、東京

[エージェントオプション] - [eth0]:

既定では DHCP による割り当てになっています。必要に応じ、固定 IP アドレスを指定します。

[エージェントオプション] - [vCenter/ESX(i)]:

保護対象となる vCenter サーバまたは ESX サーバを指定します。

Acronis Backup &	a Recovery 11.5 エージェント for VMware vSphere ESX(i) (仮想	【アプライアンス) 🛛 🛛
🙀 Acronis Back	aup & Recovery 11.5 エージェント for VMware vSphere ESX(i) ((仮想アプライアンス)
この仮想コンピュ トに接続し、ESX(ータにインストールされているエージェントを設定します。管理: i) サーバーの仮想コンピュータをバックアップして復元します。	コンソールをエージェン
エージェント スラ	テータス: エージェントは vCenter/ESX(i) サーバー '192,168. います。	0.113' に接続されて
仮想コンピュー	·夕	^
名前:	VirtualAppliance85	変更
時刻:	2012年11月26日月曜日 15:10:35	
タイム ゾーン:	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京	変更
エージェント フ	オプション	
vCenter/ ESX(i):	接続中 サーバー名/IP: 192,168.0.113 ユーザー名: administrator	変更
eth0	アドレスの種類: 手動による割り当て IP アドレス: 192,168,0,85 サブネット マスク: 255,255,0	変更
ローカル ストレ	ノージ	
/=+= /		₩₩->-、 10-++-₩
🕡 ヘルプ 🕕 バー	-ジョン情報 オフにす	「る」再起動

ESX サーバが複数存在する場合、各 ESX サーバ上で同様の作業を行います。

以上でエージェント for ESX(i)側の設定は終了です。

次に Acronis Backup & Recovery 11.5の管理コンソールを開き、管理サーバに接続します。





[ナビゲーション] - [エージェントがインストールされているコンピュータ] -

[エージェントがインストールされているすべてのコンピュータ]を右クリックし、[AMS へのコンピュータの追加]を 実行します。

複数のコンピュータを追加する場合は、[複数のコンピュータの追加]を実行します。 (今回は[複数のコンピュータの追加]を実行します。)



[コンピュータを一覧に追加] - [IP/名前を指定...]をクリックし、エージェント for ESX(i)を指定します。

複数のコンピュータの追加				
管理サーバーに追	別するコンピ	ユータの指定		
コンピュ ステータ	7ス ログ	イン 🔺	⊐>t	ピュータを一覧に追加:
このビューに表示す	≫IP/名前を指定	こしてコンピュータを追加	T 🔜 T	
	コンピューク	タの名前または IP) 唐報を指定します	アドレス、お。	た irectory から…
	名前/IP:		▼ 参照(から B)
	ユーザー名:			現から ▼ 「ーションを指定
	パスワード:			
]パスワードを保存する		
	? ヘレプ	ОК	キャンセル	
			状態	の検出をキャンセル
? ヘルプ			次へ	> キャンセル



[次へ]をクリックします。

コンピュータ	ステータス	ログイン ▲	コンピュータを一覧に追加:
92.168.0.85	追加する準備完了	administrator	NP/名前を指定…
92.168.0.86	追加する準備完了	administrator	🍋 ネットワークから…
			🍋 Active Directory から…
			🗓 ファイルから
			New 環境から…
			🍋 アプリケーションを指定
			Q、詳細
			∥ 編集
			🗙 削除
			•

概要を確認し、[実行]をクリックします。

言理サーバーに追加するコンピ: 192.168.0.85 192.168.0.86	ュータ "ABR115AI	MS.dev.com":		

処理の完了後、[閉じる]をクリックします。

【麩のコンピュータの追加	
処理が完了しまし、 操作ログを確認できます。	Ē
コンピュータ	ステータス 🔺
♦ 192.168.0.85	コンピュータ '192.168.0.85' が管理サーバーに追加されました。
♦ 192.168.0.86	コンピュータ '192.168.0.86' が管理サーバーに追加されました。
コンピュータの一覧のコ	クスポート…
? ヘレプ	閉じる

以上で、エージェント for ESX(i)(バーチャルアプライアンス)の配置は完了です。



2. ESX サーバ単体の管理

<u>2.1. ESX サーバ単体の管理</u>

保護対象が vCenter 環境ではなく、ESX サーバ単体の場合、ESX サーバを個別に保護することになります。 エージェント展開手順は「1.3. エージェント for ESX(i) の手動配置」と同様となります。 ※「1.1. VMWare vCenter 統合の有効化」は必要ありません。

3. エージェントの柔軟な構成

3.1. 仮想コンピュータの配分

<u>配分アルゴリズム</u>

管理サーバは、各エージェントに仮想コンピュータを均等に配分します。均等とは、各エージェントで同じ台数 のコンピュータを管理することを意味します。ただし、コンピュータのエージェントを選択すると、管理サーバは システムのパフォーマンスを最適化しようとします。特に、管理サーバはエージェントと仮想コンピュータの場所 を考慮します。同じホストでホストされているエージェントが好ましいとされます。

同じホストにエージェントがない場合は、同じクラスタのエージェントが好ましいとされます。

仮想コンピュータがエージェントに割り当てられると、このコンピュータのすべての集中管理用バックアップが エージェントに任せられます。

<u>再配分</u>

再配分は、確立されたバランスが崩れるたび、具体的にはエージェント間で負荷の不均衡が20% に達すると 実行されます。不均衡が発生すると、管理サーバは同じアルゴリズムを使用してコンピュータを再配分します。 たとえば、スループットを向上させるためにより多くのエージェントが必要で、追加の仮想アプライアンスをクラ スタに配置する必要があるとします。管理サーバは、最も適したコンピュータを新しいエージェントに割り当て、 関連するエージェントで集中管理用バックアップ計画をアップデートします。

これにより、古いエージェントの負荷は軽減されます。

エージェントを管理サーバから削除すると、エージェントに割り当てられたコンピュータは残りのエージェント間 で再配分されます。ただし、エージェントが破損した場合、または管理サーバをバイパスして削除された場合は 実行されません。再配分は、このようなエージェントを管理サーバから削除した場合のみ開始されます。

<u>配分結果の表示</u>

自動配分の結果は、管理サーバの各仮想コンピュータで使用できる[エージェント]列に表示されます。 また、管理サーバのオプションにも表示されます。このウィンドウにアクセスするには、[管理コンソール] - [オ プション] - [管理サーバーオプション] - [仮想コンピュータ]を選択し、[エージェント for ESX(i) バインド]を 選択します。

<u>手動バインド</u>

特定のコンピュータを常に同じエージェントでバックアップする必要がある場合、エージェントを指定して仮想 コンピュータを配分プロセスから除外できます。管理サーバは引き続き全体のバランスを維持しますが、元の エージェントが削除された場合にかぎり、別のエージェントにコンピュータを渡すことができます。





妙管理サーバ	管理サーバー オプション						
	ェント for ESX(i) バインド				X		
81	ジェント for ESV(i) (Dバインドを構成する					
_ I +		リバーン 1 ごと1両/3気 ラ つ					
ー デフォル コンピ・	ルトでは、各仮想コンピニ ュータにバインドするには	Lータをバックアップするエージェ t. 左ペインからエージェントを選	ント for ESX(i) が目動的 択し、 [仮想コンピュー	Iに選択されます。エー ·タとのバインド1をク!	ジェントを手動で仮想 Jックして、聞いた		
ウィン	ドウからコンピュータを通	訳します。		2000000000000			
			L" 6786				
25 1022		▶ 場 1反想コンビュータのハイン	/下解味				
エージ	エント	エージェントのホスト 🔺	仮想コンピュータ	VMホスト	バインドモード 🔺		
_ ⊿ 🔞 1	92.168.0.113		32Win2k3R2	AJ Cluster / 192.168	自動		
Vi	rtualAppliance85	AJ Cluster / 192.168	32Win2kSV	AJ Cluster / 192.168	自動		
Vi	rtualAppliance86	AJ Cluster / 192.168	32WinXP	AJ Cluster / 192.168	自動		
			vCenter	AJ Cluster / 192.168	自動		
			WIN2K3R2_11	AJ Cluster / 192.168	自動		
4			WIN2K8R2_04	AJ Cluster / 192.168	自動		
			WIN2K8R2_05	AJ Cluster / 192.168	自動		
4			Win2k8r2sp1	AJ Cluster / 192.168	自動		
			WIN_2KSV_31	AJ Cluster / 192.168	自動		
			WIN2K3R2_14	AJ Cluster / 192.168	自動		
4							
1							
			•	III	4		
- ②へ	ルプ			ОК	キャンセル		
(TANK				UK	+7700		
9				·			



4. 仮想コンピュータのバックアップ

<u>4.1. バックアップ計画/タスクの作成(エージェントレスバックアップ)</u>

管理コンソールを開き、管理サーバへ接続します。

[バックアップ計画の作成]をクリックします。

Sincroms backop a necovery rr.s - njnor	min#UEV 2GC AMSTADRIISAMSDEVICONIL MAR	
③○• ◎ 接続• ※ アクション•	🗟 ツール・ 🔤 ナビゲーション・ 🕲 オプション・ 🚱 ヘルプ・	9 Acronis 🧕
	'ABR115AMS.dev.com' へようこそ コンソールは Arronic Backup & Recreary 115 管理ワーバーに接続されています。果行するアクションまたは使用する い。豊かな振行機能なない。グランコペード ビューに移動してくたさい。 「アクアップ計画の作品 選択したコンピュータのデータを保護するバックアップ計 一般市に中成されたパックアップ からデータを現元します。 ● パイルククァブ アクマップロケーションを指定し、今すく登録示みコ ンピュータのパックアップを開始します。 ● マイルックアップ パックアラート (0/0) 下べてを思示 アラートは参りません。	5 × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×
	□ 起動時に現在のビューの代わりにダッシュボードを表示する	
		0 #607077V72

[バックアップの対象] - [バックアップする項目]をクリックし、対象となる仮想コンピュータを選択し、 [OK]をクリックして画面を閉じます。







[バックアップの保存先] - [ロケーション…]をクリックし、保存先を指定します。 今回は集中管理の格納域を指定します。[OK]をクリックし、画面を閉じます。

≫□ケーション				×
格納域のパスを入力し、新しいバッ	クアップ アーカイ	ブの名前を定義し	てください	
◎ すべてのコンピュータのアーカイブを1 つ	の場所に保存する			
⑥ 各コンピュータのアーカイブをエージェン します	トがインストールされた	コンピュータ上の指定	ミされたフォルダ(こ保存
◎ 各コンピュータのアーカイブをコンピュー	タの Acronis セキュアン	ノーンに保存する		
 □ フォルダの作成 □ 名前の変更 ○ オンラインバックアップストレージ ○ 紫牛管理 ○ メutt 	Vault 集中管理対象 サイズ: 232.7 GB 空き領域: 195.3 GB	の格納域		
▷ R ネットワーク フォルダ	€ 更新			
FTP サーバー	アーカイブ名	所有者	種類	場所
	ABR115MMS.de	DEV\AjAdmin	ディスク アー…	ABR:
₩ 2FL-97-F	< □ □ □ □ □ × >			•
パス: Vault				\rightarrow
名前: [Machine Name]_Archive(1)			変数の追加	n -
? へいプ		ОК	キャンセル]



[バックアップ方法] - [バックアップスキーム]をクリックし、バックアップ実行のスケジュールを指定します。 今回はカスタムを指定します。



その他のオプションは要件にあわせて、設定を行います。



最後の設定を確認し、問題がなければ[OK]をクリックし、作成を完了します。

S Acronis Backup & Recovery 11.5 - AjAdmi Cコーシー ○ 服用・ ※ アクション・ ※	n#DEV ツール=	EUT AMS[ABR115AMS.de 型ナビダーション・ Ø	v com 伝稿数 オプション・	Acronis 🔘
ナビダーション < EEリスト 完全リスト ・ 一 ABRIISAMS.dev.com @ ダッシュボード	パッ選択し	レクアップ計画 たコンピュータのデータ バックアップの対象	「の作成 を保護するバックアップ計画を作成してください。	ĥ
▲ ピュージェントがインストールされてい ● エージェントがインストールされてい ● ピョ 仮想コンピュータ 〇 バックアップの計画およびタスク ● Microsoft Exchange Server		パックアップする項目	※目外転移 ときの使用ンビュータ: 項目の対表示 ④ ※目外転移 ● WPAD3R2_02 ※目外期後 ● WPAD3R2_02 ※目前時間 ● WPAD3R2_03 ※目前時間 ● WPAD3R2_03	
 〒タカタログ ● 抽物域 ● ストレージノード ● テープ管理 ● ライセンス ● アラート ⇒ レポート 	1	 ※ アクセス ロタイン情報. パックアップの保存先 ロケーション- ※ アクセス ログイン情報. 	除外の表示 名冊 [Machine Name] Archive(1) / CV Vani (集中管理用指形物) アールマンのマントの発売	
 ログ シュートカット ローカルコンピュータ [ABRIJSAMS.dev.ce 	0	バックアップ方法 バックアップスキーム: こをパックアップス	カスタム・▼ データをバックアップする時期と認識、およびバックアップを保存する問題を指定してください。	E
			ステシュールの面面」 家児 通知的か 1歳間に1部、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日の00000 にタスクを開始す る。 条件の通知。 条件が指定されていません。	
		増ガバックアップ。 差分パックアップ。	スクジュールの通知。 スクジュールが強定されていません。 スクジュールの通知。 スクジュールが発定されていません。	
		アーカイブのクリーンアッ ブ: ② 2 春日のロケーション、	クリーンアップしない ◆ ベリファイ、 仮想コンピュータへの変換の表示	
	3	計画のパラメータ 計画名:	/(ックアップ 2012/11/20 15:32-34 のK 〇K	
			0	現在のアクティビティー

作成終了後、[ナビゲーション] - [バックアップの計画およびタスク]配下に登録されます。

スケジュールに従って自動的にバックアップが開始されますが、[実行]をクリックすることにより、手動実行 することも可能です。

🚱 🕗 🗢 細胞・ 🛞 アクション・ 😫	ツール・ 厚ナ	ピターション・ 🔮	🤉 •८८८८४ 👔	バックアップの計	あおよびタスク アクショ	シャ のいしす・		9 Acronis 🤇
ナビグーション * 第リスト 完全リスト ● ABRIISANS dev zom	バックス	アップの ータ上に存在す	十画およて ^{Tるバックアップ}	ドタスク 計画およびタス	クの状態を確認しま	ey.		
@ ダッシュボード	○新規・●	実行* 圖 但止	▲ 編集 🗙 総計	* * クローン	メインボート アエ	クスポート Q I	離 📓 ログ 🙆 相対な	(する) 🔂 開始にする
▶ 端 エージェントがインストールされてい	名崩		東行状態	ステータス	前回の完了時刻	次回の開始時刻	^	
◎ 🔓 仮想コンピュータ			[इ ぺट] 🔹	[すべて]	-			
パックアップの計画およびタスク	バックアップ	7 2012/11/26 15 7	P-1 File	ок	2012/11/26 15:43:49	2012/11/27 0:00:00)	
Hicrosoft Exchange Server	10.000 C							
■ データ カタログ								
シストレージリート								
8 5-1t2-2								
11 レポート								
07								
a-bawb								
現在のユーザーとして AMS [localhost]								
					265			
	詳細	進行状況 雕塑	バックアップの	対象 パックアッ	ブ先 設定			
	名称:	バックアップ	2012/11/26 15:32:34			前回の完了時刻:	2012/11/26 15:43:49	
	場所:	集中管理				次回の開始時刻:	2012/11/27 0:00:00	
	実行状態:	アイドル				所有者:	AjAdmin@DEV	
	ステータス:	OK				速度:	2.899 MB/#3	
	配置の状態:	配置済み				スケジュール:	カスタム	
	種語	バックアップ	計画			コメント		
	期回の開始時	图: 2012/11/26 15	32:42					



5. 仮想コンピュータの復元

<u>5.1. 仮想コンピュータの復元タスクの実行</u>

バックアップ取得済みのコンピュータは個別に復元することが可能です。

管理コンソールを開き、管理サーバへ接続し、[復元]をクリックします。



[復元元] - [データの選択…]をクリックし、復元対象となるバックアップイメージを選択し、[OK]をクリック します。





復元するデータの選択			×
復元対象の選択			
データ ビューを参照し、復元する正确	はファイル、フォルダ、ボリューム、およびデ タを含むバックアップを参照します(アーカ	「ィスクを選択します。または、必引 イブ ビュー)。	長なバックアップ デー
◎ データパス:			参照
 第中カタログ 			
表示: コンピュータ/ティスク/不り.	1-ム▼ ハックアップされたナータを	ビ以下の柴件で表示: カタロクの9	~(•
▶ 📑 データ カタログ 🕨 📷 AJ Clu	iter 🕨		検索
🛯 🔲 📑 データ カタログ	■ 名前 ▲	バージョン 🔻	
⊿ 🔲 📮 ABR115MMS.dev.com	🔲 🔚 WIN2K3R2_11	▲11月	
▶ 🗆 🌑 ディスク1		2012年11月26日 15:38	:55
4 🔳 💼 AJ Cluster			
▷ 🔤 🌄 WIN2K3R2_11	Signal WIN2K3R2_14		
MIN2K3R2_12	WIN2K8R2_01		
V WIN2K3R2_13	🔲 🔚 WIN2K8R2_02		
WIN2K3R2_14	🔲 🔚 WIN2K8R2_03		
WIN2K3R2_15	WIN2K8R2_04		
	WIN2K8R2_05		
		復元元の格納博・	
		Vault(ローカル,フォルタ)	
۰ III) ۲		*****(L1 /J// / //////////////////////////////	•
			_
ヘルプ		ОК	キャンセル

[復元先] - [復元先]として新しい仮想コンピュータ(または既存の仮想コンピュータ)を選択します。

TUC/-Sel/ C F-900@C SUDAL Sel/CA Subar Sel/CA Sel/CA Sel/CA	◇Acronis Backup & Recovery 11.5 - AjAdm へいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	ineDEV EUC AMS (ABRITISAMS davices) に放き (ツール・ 🔤 ナビゲーション・ 🧐 オブション・ 👔 ヘルプ・	
のK までンセル	Accounts Backup & Recovery 113 - A)Ad		Acronis @
		ok キャンセル	



[参照…]をクリックし、復元するコンピュータ(エージェント for ESX(i))を選択します。

VM/VS の選択		×
仮想化サーバーまたはコンピュ	ータの種類を選択します	
◎ サーバートに新しい仮想コンピュー	々を作成します	
⑥ 仮想コンピュータを一連のファイル	として保存します	
A + 7 A + 7 + 4 + 7 + 7 + 1		
◎ ホストおよびクラスタ	192.168.0.52	
▲ 🔚 AJ Cluster		
192.168.0.53	ベンタ: VMware, Inc.	
192.168.0.52	裡類: VMware ESXi	
	復元を実行するエージェント:	
	Virtual Appliance 96 -	
	virtuaiApplianceoo ♥ 更新	
シーヘレプ	ОК	キャンセル

[ストレージ]から、仮想コンピュータを保存するデータストアを指定します。

[仮想コンピュータの設定]をクリックし、CPU/メモリ/ディスク容量等を指定します。 その他の設定を確認し、問題がなければ[OK]をクリックして復元タスクを開始します。





タスクの終了後、[閉じる]をクリックして画面を閉じてください。

≫'復元_1' 詳細			×	
タスク '復元_1'の詳細を表示				
タスク	バックアップ 設定 履歴			
名前:	復元_1	スケジュール:	手動	
実行状態:	アイドル	前回の結果:	正常終了	
ステータス	ОК	前回の完了時刻:	2012/11/26 16:07:29	
種類:	復元(新しい VM)	所有者:	root	
管理対象のエンティティ:		管理対象のエンティティ	管理対象のエンティティの種類	
コンピュータ	7名:	コメント	復元タスク。	
元の場所:	集中管理			
□□ 処理が完了したら、このダイアログボックスを閉じる				
(?) ヘルプ			停止 閉じる	

以上で復元作業は完了です。